

2019年8月20日 第285号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり「19日行動」に1600人

参院選 改憲勢力3分の2議席阻止に確信を！ 安倍改憲阻止にむけさらに奮闘しよう！

参院選後初めての総がかり行動実行委員会・安倍9条改憲NO!全国市民アクションによる「19日行動」が8月19日夜、国会議員会館前で行われ1600人が参加しました。参院選で改憲勢力に3分の2議席を取らせなかったことに確信をもち、さらに安倍改憲阻止・安倍政権退陣にむけ奮闘していくことを確認しあいました。立憲民主党・佐々木隆博衆議院議員、日本共産党・山下芳生参議院議員があいさつしました。

なりぞうさんのプレコンサートで盛り上がり、憲法共同センターの長尾ゆりさん(全労連副議長)の司会で集会がスタートしました。主催者を代表し総がかり行動実行委員会・高田健共同代表があいさつ。はじめに、「参院選は改憲勢力を3分の2割れにさせ、われわれは勝利した。立憲野党と市民の共闘の力に確信を持とう」と呼びかけました。韓国で行われた日本の安倍政権による対韓輸出規制を糾弾するろうそく集会に参加し、あいさつしたことについて話し、「安倍NO!で日韓の市民は連帯している。徴用工の個人的請求は認められており、日本政府もそれは認めている。経済制裁は許されない」と批判。「衆議院289の小選挙区でも立憲野党と市民の共闘を一つひとつ作りだし、安倍政権を倒そう」と訴えました。



安保法制違憲訴訟原告・長尾晴人さん、「声明 韓国は『敵』なのか」の呼びかけ人・和田春樹東大名誉教授、ジャーナリスト・志葉玲さん、市民連合めぐせた・清水繁子さん、改憲問題対策法律家6団体連絡会・大森典子弁護士が発言しました。

市民連合めぐせた・清水繁子さんは、「止めよう！改憲発議11・3国会前大行動に参加した時、山形からバスで国会見学に来ていた立正佼成会の方たちを参加者と勘違いして3000万人署名をお願いしたところ、11の方が署名をしてくれた。その時、『いい署名なので、世田谷の立正佼成会に行ってみたら』と言われ、勇気を出して行ったところ、会長に面会できた。『平和について気にしている。改憲について心配している。個人として協力する』と言われ、署名用紙を置いて頂けることになり、300人の署名が集まった。品川や大田でも協力いただき、全部で600人分が集まった。安倍政権に怒っている人はたくさんいる。いろんな人に署名を呼びかけよう」と垣根を作らずに署名を訴えて成功した貴重な経験が話されました。

戦争をさせない1000人委員会の北村智之さんが行動提起。19日行動(9月19日18時30分～議員会館前、10月19日15時～議員会館前)、安倍政権は「徴用工問題」の報復やめろ8・27官邸前緊急行動(18時30分～)、9月17日の「朝鮮半島と日本に非核・平和の確立を!日朝国交正常化交渉の再開を」を求める集会(18時30分～文京区民センター3A)などへの参加を呼びかけました。